不祥事根絶に向けた取組

茨城県立水戸南高等学校長 西野 守郎

私たちは、教育公務員として高い倫理観を持つとともに、県民の信頼を得られる教育者として、誇りや使命感を深く自覚するとともに、生徒や保護者から信頼され、地域社会の期待に応えるために、服務規律の確保に努めてまいります。

1 体罰

- ・体罰は、生徒の人格を侵害する行為であることを理解し、絶対に行わない。
- ・体罰は、いかなる事由によっても行ってはならないことを再認識し、指導の際に暴言等行き過ぎた行為がないように徹底する。
- ・スクールカウンセラーや養護教諭など、他の教職員等と連携して指導に当たる。
- ・体罰や暴言の予兆がないか気を付け、気付くことがあれば速やかに管理職に報告・相談するなどの対応をとる。

2 わいせつ・セクハラ等

- ・生徒が安心安全な学校生活を送るために、いつでも、どこでも、常に生徒の人権を最優先 に考え行動する。
- ・生徒指導部主導による定期的な生徒へのアンケートや面談等を実施し、個別支援や情報共 有、注意喚起を行う。
- ・個別面談や指導の際は、可能な範囲での複数名で対応する。なお、やむを得ず個人対応となる場合は、管理職へ許可を得るとともに、終了後はその旨報告をする。
- ・不適切な時間帯や場所では、面談や指導を行わない。
- ・他の教職員の言動に関して、違和感や疑問を抱いた場合には周囲と共有し、速やかに管理 職に報告する。
- ・生徒や保護者と個人的に連絡先の交換をしない。また、SNSでの生徒及び保護者との私的なやり取り等は原則禁止とする。なお、緊急を要する場合は、管理職の承認を得たうえで対応する。

- ・盗撮行為は、生徒等の心を深く傷付ける法令に違反する重大な犯罪行為であるということ を理解し、絶対に行わない。
- ・不審、不可解な行動をする職員に気づいたら、迷わず管理職に報告する。
- ・校内巡視を徹底するとともに、情報共有に努める。
- →トイレ、ロッカー、棚等に不審な点がないか確認する。

4 飲酒運転

- ・公私を問わず酒席に参加し飲酒する場合は、原則自家用車等では参加しない。
- ・交通手段やハンドルキーパーの確保などについて、事前に確認する。
- ・自家用車等で帰宅するおそれがある者には、飲酒を勧めない。
- ・飲酒量・飲酒時間に応じて、確実にアルコールが分解される時間が経過するまで運転しない。また、前日のアルコールが残っている可能性があるときは運転しない。

5 交通事故•交通法規違反

- ・普段から交通ルールを遵守する。
- ・ながら運転(スマートフォン等の操作)をしない。
- ・万が一事故を起こしてしまった場合は、責任ある対応をする。
 - →負傷者の救護及び警察への報告
- ・交通事故の当事者となった場合及び交通法規違反をした場合、速やかに管理職へ報告する。

6 個人情報の不適切な取扱、情報セキュリティ

- ・電子メールの宛先や送信元の確認、添付ファイルの確認は念入りに行う。
- ・答案の紛失や誤廃棄防止のため、考査期間は鍵のかかるロッカーで保管する。また、シュ レッダーの使用は原則禁止とする。
- ・個人情報を含むものを郵送する場合には、複数名で確認する。
- ・授業や学校行事等において、個人所有のスマートフォンやタブレット等を用いて撮影しない。
- ・学校の備品を用いて撮影した画像や動画についても、個人使用や校外への持ち出しをしない。
- ・個人情報を校外に持ち出す場合は、管理職に必ず許可を得る。
- ・職員室の机上や教卓等は整理整頓を心掛け、個人情報を漫然と放置しない。

7 公金の管理

- ・集金等の現金は速やかに業者等へ支払い、職員室や準備室等の机や引き出しの中で保管しない。
- ・会計フローに則した会計処理を、複数名で遂行する。
 - ①執行伺い(見積徴取、契約)、②支払い(履行確認、払い込み)、③決算報告(通帳、帳簿書類等)
- ・会計処理の確認については、定期的(年間4回)に管理職を含めた複数名で実施する。また、学年会計については、年度末に文書で保護者へ報告する。

8 環境整備

- ・危険な場所にカメラ等が設置されにくいよう整理整頓に心掛ける。
 - →ロッカーや棚、机、教卓の中はいつも整理整頓を徹底する。 教室、体育館、トイレなどに、普段使用しない備品等を置かない。
- ・校舎内外の日常的・定期的な整備、点検及び清掃活動を行う。
 - →壁等に穴が開くなど破損箇所等については、即対応し修繕(を依頼)する。 校内巡視の際、チェックリスト等を活用し確認・共有する。

9 その他

- ・教職員に対し、「One IBARAKI」等を活用した研修を実施する。
- ・教職員は、「不祥事防止のためのチェックリスト」を利用して、自己点検を行う。
- ・教員間のコミュニケーションを密にすることで、話しやすく相談しやすい関係性を築く。